REMA® ドラムグラブ DG10
取扱説明書、及び安全に関する重要なお知らせ

ご使用になる前に、必ず取扱説明書と警告をお読みになり内容を理解しておいて下さい。

REMA DG10ドラムグラブは、容量220リットル、天板直径570mm～610mmのプラスチック製、若しくはスチール製のドラム缶を吊り具に装着する為の装置です。ドラムグラブのアーム部をドラム缶の**天板外縁（チャイム）**に引掛けて使用されます。
その為、ドラム缶の上部チャイム部に構造的な欠陥があると使用できません。ドラムグラブは、ドラム缶吊り上げ以外の目的には使用できません。ドラムグラブの最大使用荷重（WLL）は1トンです。
ドラムグラブや、それと同時に使用する吊り具に対してオーバーロードを掛けないで下さい。重量物の吊上げ移動作業には常に危険を伴います。常時警戒し、次に行おうとする動作に関して注意を払って下さい。
取扱説明書や、その警告内容を遵守しない場合、傷害事故、若しくは死亡事故に繋がる場合があります。

ご使用になる前に、

- ●ドラムグラブ本体及び同時に使用するすべての吊り具を使用前点検し、摩耗、クラック、損傷、若しくは変形などがないかどうか点検して下さい。すべてのナット、ボルト、固定具が緩んでいないかどうか、損傷がないかどうかを点検して下さい。もし、何等かの損傷や緩みが出ている場合は使用しないで下さい。
- ●吊り上げるドラム缶本体及び、そのチャイム部も含んですべて良好な状態であるかどうか、中身の重量に充分耐えうるかどうかを確認して下さい。**錆が浮き出ていたり、変形、若しくは損傷していたりする場合は、決してそのドラム缶を吊り上げてはなりません。**吊り作業を始める前に、各接続部に問題なく、且つ、ドラム缶の強度が十分にあるかどうかを確認する為に、ドラム缶を少しだけ床面から吊り上げ、試験吊りを確実に実施して下さい。
- ●認可された、吊り具、セーフティー・ラッチ付のフックのみ使用して下さい。
- ●ドラムグラブの吊上げ用センター・リングに吊り具を装着してから、吊り上げて下さい。
- ●使用する吊り具の最大使用荷重が、吊り上げようとする荷重よりも大きいかどうかを確認して下さい。
  吊り具が破損して、ドラム缶が落下し、損傷、負傷、若しくは死亡事故に繋がる可能性があります。
- ●吊り上げ対象物の重量を常時確認して下さい。REMA DG10ドラムグラブの使用荷重限度（WLL）は1トンです。
- ●ドラムグラブ、及び同時に使用する吊り具にオーバーロードを掛けないで下さい。
- ●可燃性や危険物が入っているドラム缶を取り扱う場合、その内容物のメーカーの「安全作業手順」に関する取扱説明書の指示に従って下さい。内容物によっては、もし、こぼれ出した場合、負傷を負ったり環境汚染を引き起こしたりする場合があります。
- ●ドラムグラブを使用するすべての作業員に、この取扱説明書の内容を熟知させ、安全な吊り作業、及び取り扱い手順に関して訓練を実施し、適切な保護具を装着させて下さい。
- ●作業場が安全で、頭上に電線その他障害物などの危険がないかどうか確認して下さい。
- ●疲れていたり、気が入らなかったり、又、集中力や制御力を減衰させるようなドラッグや、その他の薬物の影響下にある場合は、決して吊り作業をしてはなりません。
- ●吊り上げる前に、3本のすべてのアームが、きちんとドラム缶の上部チャイムに掛かっているかどうか確認して下さい。（裏面参照）
- ●ドラムグラブに荷重が付加されているとき、若しくは、ドラム缶が不安定な姿勢になっている場合は、決して取り外さないで下さい。
- ●ドラムグラブを含むすべての吊り具に衝撃を与えたり、急激に引き上げたりしないで下さい。
- ●使用するフックのセフティー・ラッチの部分に荷重を掛けてはなりません。
- ●重傷を負う可能性がありますので、ドラム缶とドラムグラブの間や、ドラムグラブの駆動部に、指やその他の体の部位を挿入してはなりません。

- ●吊り上げたドラム缶の下、ドラム缶とその傍にある他の物との間に立ったり、歩いたりしてはなりません。また、その他の人にも、そのような事をさせてはなりません。ドラム缶が落下したり揺れたりすると、重症を負ったり、死亡したりする場合があります。
- ●吊り上げている時は、そのドラム缶からは少し離れ、すべての人を吊り作業をしている場所や、吊り具やドラム缶の揺れが届く範囲に立ち入らないようにして下さい。
- ●吊り上げたドラム缶を決してそのままの状態で放置しないで下さい。落下して、怪我人が出る可能性があります。
- ●人の頭上を、吊り荷が通過するような吊り作業は決してしてはなりません。
- ●吊り上げられている時、危険を生じさせるようなドラム缶の揺れは決して起こしてはなりません。
- ●ドラムグラブで、決して人を吊り上げてはなりません。その使用方法は想定されていません。

- ●分解禁止 – ドラムグラブが、購入者やユーザーによって分解されたり、再組立てされた場合、製品保証は無効となります。いかなる場合でも、オリジナルの組み立てや、部品に変更が加えられた場合、弊社はその責は負いません。**ドラムグラブの部品は、決して溶接で固定してはなりません。**

- ●常に安全靴を履いて下さい。ドラムグラブを使用してドラム缶を取り扱う際は、つま先がスチールで保護されている認可された安全靴を履かなければなりません。

この取扱説明書は、いつでも参照出来る場所に保管して下さい。

REMA® ドラムグラブ DG10
取扱説明書、及び安全に関する重要なお知らせ

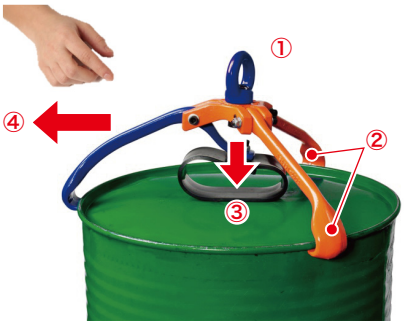
ご使用になる前に、必ず取扱説明書と警告（裏面）をお読みになり内容を理解しておいて下さい。

取付方法

REMA DG10ドラムグラブをドラム缶に固定するには、

片手で吊上げ用センター・リングをつかみ、
もう一方の手で、駆動アームを持ち上げます。

駆動アームをほんの僅か持ち上げるだけで構いません。



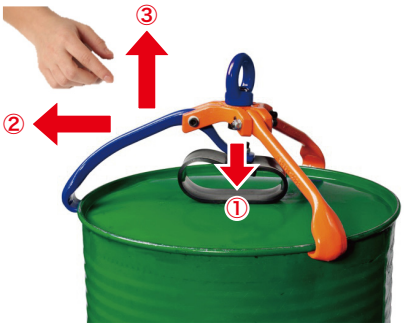
①REMA DG10ドラムグラブをドラム缶の天板上に置き、
②2本の固定アームをドラム缶の上部チャイムの下に引掛けます。
③REMA DG10ドラムグラブの吊上げ用センター・リングを、ラバーループを圧縮しながら、
④駆動アームがドラム缶の上部チャイムの下側に噛み込むまで、駆動アーム側に引っ張ります。
ラバーループが左図の状態になったかどうか確認して下さい。

この作業は、駆動アーム側に立って行うと容易になります。

吊り上げる前に、ドラム缶の上部チャイムの下に、すべてのアームがしっかりと噛み込んでいるかどうか確認して下さい。

吊り上げ用センター・リングに、吊り具を装着します。
（吊り具は、このリングのみに装着して下さい。）

取り外し方法



ドラム缶から、ドラムグラブを取り外すには、

荷重が掛かっていない時のみ、取り外す事が出来ます。

①吊上げ用センター・リングを、ラバーループを圧縮しながら、
②駆動アームがドラム缶の上部チャイムの下から外れるまで、駆動アームの方向に引っ張ります。

③駆動アームを上方に引っ張り上げると、ドラムグラブは外れます。

さらに詳しい本製品に関する情報は、直接下記にお問い合わせ下さい。

総輸入販売元

RUD® 株式会社 ルッドリフティングジャパン

■ホームページ http://www.rud.co.jp/
■通販サイト http://www.rudshop.jp/
「株式会社ルッドリフティングジャパン」Facebook公式ページもご覧ください。
ルッドリフティングジャパン 検索

本　　社　〒547-0001 大阪市平野区加美北9-7-14　TEL:06-6795-6717　FAX:06-6795-6718
東京営業所　〒135-0064 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 1132号　TEL:03-6457-1747　FAX:03-6457-1748